

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成20年5月22日
		作成部署	建設交通部 河川課
事業名	広域一般河川改修事業（補助）	地区名	福知山市 牧 ～ 野花 地内
概算事業費	2,280百万円	事業期間	昭和62年度～平成30年度
事業概要	過去に浸水被害が発生しており、流下能力が低いことから、河道拡幅による改修を行う。（L=2.36km）		
目指すべき環境像	当該河川では、山間部の福知山市（旧夜久野町）から谷間に形成された田畑部を抜け由良川に注ぐ河川であり、周辺には豊かな自然と田園地帯が広がるなど景観にも恵まれた地域である。しかし、過去から度々氾濫を繰り返し、近年においても大きな浸水被害が発生している。 したがって、河川環境・景観に十分配慮した河川整備が必要である。		
関連する公共事業	直轄河川改修事業（由良川中流部）		

	評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点	選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化（CO ₂ 排出量等）	—	当該河川は、瀬や淵が連続して存在しており、岩端井堰上流の湛水域には中州が形成され、鳥類の憩地となっている。このような動植物の生息・生育・繁殖良好な自然環境を保全する必要がある。	改修時に現在のみお筋の形状を極力残し、瀬や淵を保全することにより、生物の生息・生育・繁殖環境の保全に配慮する。井堰改良には、魚道の設置等、魚類等の移動経路を確保する。また、土砂移動に関しては現況を維持する。	—
	地形・地質	○			3
	物質循環（土砂移動）	○			3
	野生生物・絶滅危惧種	—			—
	生態系	○			4
	その他	—			—
生活環境	ユニバーサルデザイン	—	当該河川は、過去からたびたび浸水被害が発生しており、また周辺ではほ場整備が実施されていることから、河川改修を施し地域の生活環境改善に努める必要がある。また事業実施に伴い発生する掘削発生土を抑制する。	河川改修を実施することにより、浸水被害の解消が期待でき、築堤に利用掘削発生土を根固めブロックと再利用を図るなど、処分する建設廃棄物の低減を図る。低騒音型施工機械を採用する。	—
	水環境・水循環	○			3
	大気環境	—			—
	土壌・地盤環境	○			3
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			4
	化学物質・粉じん等	—			—
	電磁波・電波・日照	—			—
	その他	—			—
地域個性・文化環境	景観	○	当該河川は、右岸側へ田畑が広がり、近年ほ場整備や宅地開発が進められている。これら地域の街づくりを支援すべく、地域住民が親しみやすい、周辺で景観のある河川環境の創出が必要である。	当該河川は、法面部は緩勾配の土羽構造とし、自然植生の回復に努め、水際環境の生息環境を保全し、緑豊かな河川景観の創出を行う。	3
	里山の保全	○			3
	地域の文化資産	—			—
	伝統的行祭事	—			—
	地域住民との協働	○			3
	その他	—			—